

大ニ日本

版 コ ス シ

道新 1612P 道新杯争奪全道実業国球 (札幌) - 21P
 (本編) 177Pへ送る
 高知 16214 本編同V
 新愛媛 1642
 甲口新 1611 長秀工学いらく - 広島, 甲辰 - 118P (本編) 177Pへ送る

No. 379

36. 4. 21

スポーツ 科学化する陸上界

— 東京

三年後の東京オリンピックをめざして選手強化に乗り出す陸上界。ハリード・トレーニングも先ずは年輪と体力に応じた練習量を医学的に分析しようとの程東大体育研究室に日本で初めてというトレッド・ミル(ふみ車)と名付ける体力測定器を発表しました。一方国立競技場にはこれは世界で初めてというベース・メーカー(電気走調機)が完成しました。一周四〇〇米のレール上を自動調節で最高砂速十米のスピードで走ります。居ながらにして世界トップ・クラスランナーの合理的なペース配分をこの機械で覚えさせ様といういわば苦心の作。ただ走るだけの練習ではとても世界的水準にほど近い日本陸上界の一つのテスト・ケースともいえるでしょう。

一、ライシャワー大使着任

— 東京

新しく駐日米大使としてエドウィン・ライシャワー氏が、日本人の春夫人と令嬢を伴って四月十九日晩の羽田空港に到着しました。ケネディ外交の異色人事として内外にとかくの話題をまいた大使は、豊かな日本語で、日米の相互理解に努力したいと強調しました。

一、落盤で十三人生き埋め

— 静岡

四月十六日午後二時頃東伊豆町稲取の西松建設トンネル工事現場で十八メートルにわたって落盤が起り工夫十三人が生き埋めとなりました。現場はおびただしい丸太と岩石で埋まり、救助作業は全く困難を極める有様。ついに岩にはさまれた腕を切断して救出された人もありましたが、助け出された人も、病院でつきつぎに死亡。生還は僅か二名、安全労働が叫ばれている矢先き十一名の貴重な生命が失われたのです。

日本の群像

一、教徒の町

— 奈良

天理教の町丹波市は、日本のパチカンと言われる宗教都市にまで発展し、その名も天理市と改められるほどになりました。

四月は教祖中山みきの誕生祭、ぞくぞくとつめかける信者で神具屋さんはひろんのこと、すべての商は天理さまにあやかり商売繁昌をうたっています。銀行も行員がハッピーならお客さんもこれまたハッピー。オール・ハッピーのハッピーシティです。刑事さんも手錠にハッピーのとりあわせよろしく変装してのパトロールに出動します。

かくて迎えた誕生祭。信者はもちろん幹部一同うやうやしくぬかずき親神様のおさとしをします。宗教は、それが最もたやすい現実逃避であるが故に社会の底辺へ浸透してゆきました。疲弊した農家の一主婦が天理教を起して百余年。その心情は現代もなお信者たちの胸に生きつづけているのです。

113P

270P

149P

118P

114P